

2026年12月期第2四半期決算短信 補足資料

株式会社ヘッドウォータース

2026年8月14日

証券コード 4011



2026年12月期第2四半期決算概要（連結）

(千円)

(千円)

	25/12期 第2四半期		26/12期 第2四半期			
		実績 構成比 (%)		実績 構成比 (%)	前年同期比 (%)	年間予算達成率 (%)
売上高	1,637,995	100.0	3,351,490	100.0	204.6	39.2%
エンタープライズAIソリューション	1,584,251	—	2,366,740	—	149.4	43.1%
AIワークフローエンジニアリング	196,582	—	863,862	—	439.4	32.8%
DATA&AIエンジン	—	—	341,798	—	—	25.2%
(セグメント間の内部売上高)	△142,838	—	△220,910	—	—	—
営業利益（営業損失）	△22,038	—	271,799	8.1	—	36.0%
経常利益（経常損失）	△73,168	—	129,600	3.9	—	20.9%
親会社株主に帰属する 中間純利益（中間純損失）	△37,311	—	△191,987	—	—	—
1株当たり中間純利益 (1株当たり中間純損失)	△9円83銭		△41円66銭			

※ 2026年5月1日付で、BBDイニシアティブ株式会社の吸収合併に伴い、第2四半期より同社の売上高を「DATA&AIエンジン」および「AIワークフローエンジニアリング」の各セグメントに含めて計上しております。
(参考) セグメント間の内部売上高（千円）：エンタープライズ39,522/AIワークフロー181,388/DATA&AIエンジン456（連結上は相殺消去）



2026年12月期第2四半期 決算サマリー

2026年12月期第2四半期は、2026年5月1日付でBBDイニシアティブを吸収合併し、エンタープライズAIソリューション・AIワークフローエンジニアリング・DATA&AIエンジンの3セグメント体制が本格稼働。BBDイニシアティブの業績計上に加え、エンタープライズAIソリューションも伸長したことで、売上・粗利は四半期ベースで過去最高を更新。

《売上高》

- AI需要を的確に捉え、5四半期連続で**過去最高売上高を更新（四半期会計期間、前年同期比：232.4%／前期比：165.5%）**
 - エンタープライズAIソリューション：AIエージェント需要の取り込みとロイヤルクライアント戦略の深化により売上単価が上昇し、増収を継続（売上高 1,221,356千円）
 - AIワークフローエンジニアリング：AI駆動開発の需要浸透に加え、BBDイニシアティブの吸収合併に伴う業績計上により売上が大幅に拡大（売上高 525,937千円）
 - DATA&AIエンジン：2026年5月1日のBBDイニシアティブ吸収合併に伴い、第2四半期より計上（売上高 341,798千円）

《営業利益/経常利益/親会社株主に帰属する中間純損失》

- 粗利：5四半期連続で**過去最高粗利を更新**（四半期会計期間、937,912千円／粗利率44.9%）
- 販管費：人件費の増加に加え、吸収合併に伴う費用・人員増加（のれん償却を含む）により増加したものの、営業利益は確保（四半期会計期間、801,406千円／前年同期比：215.1%）。のれんは暫定処理であり、今後のPPAにより確定予定。
- 営業利益・営業利益率：吸収合併に伴う費用増加の影響を受けたものの、**営業利益136,506千円／営業利益率6.5%を確保（四半期会計期間）**
- 経常利益（四半期累計期間）：前年同期の赤字（△73,168千円）から**黒字転換し129,600千円を確保**
 - BBDイニシアティブ株式会社との統合までに発生した持分法による投資損失79百万円、支払利息21百万円等を営業外費用として計上。
- 親会社株主に帰属する中間純損失191,987千円
 - 統合時に発生した段階取得に係る差損207百万円等を特別損失として計上しております。
 - BBDイニシアティブ株式会社との統合までに発生した持分法による投資損失および吸収合併時の段階取得に係る投資損失は、いずれも一時的な損失であります。

《人材採用》

- 2Q実績：総従業員数637名（前四半期比 純増236名。BBDイニシアティブ吸収合併による人員を含む）
- 採用のターゲット層：ハイレンジ～ミドルレンジ層が中心



セグメント別 売上高の推移

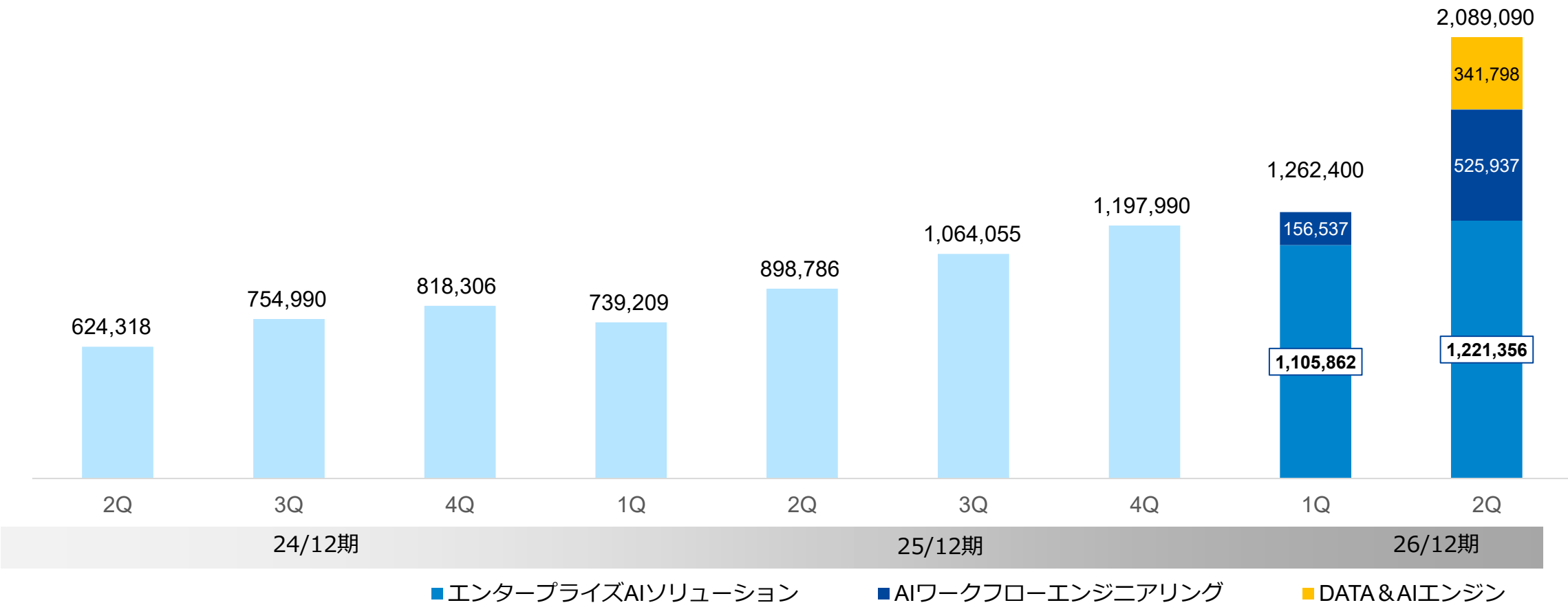
24/12期売上高：2,905,981

25/12期売上高：3,900,040

(千円)

前年同期比：232.4%

前期比（QoQ）：165.5%





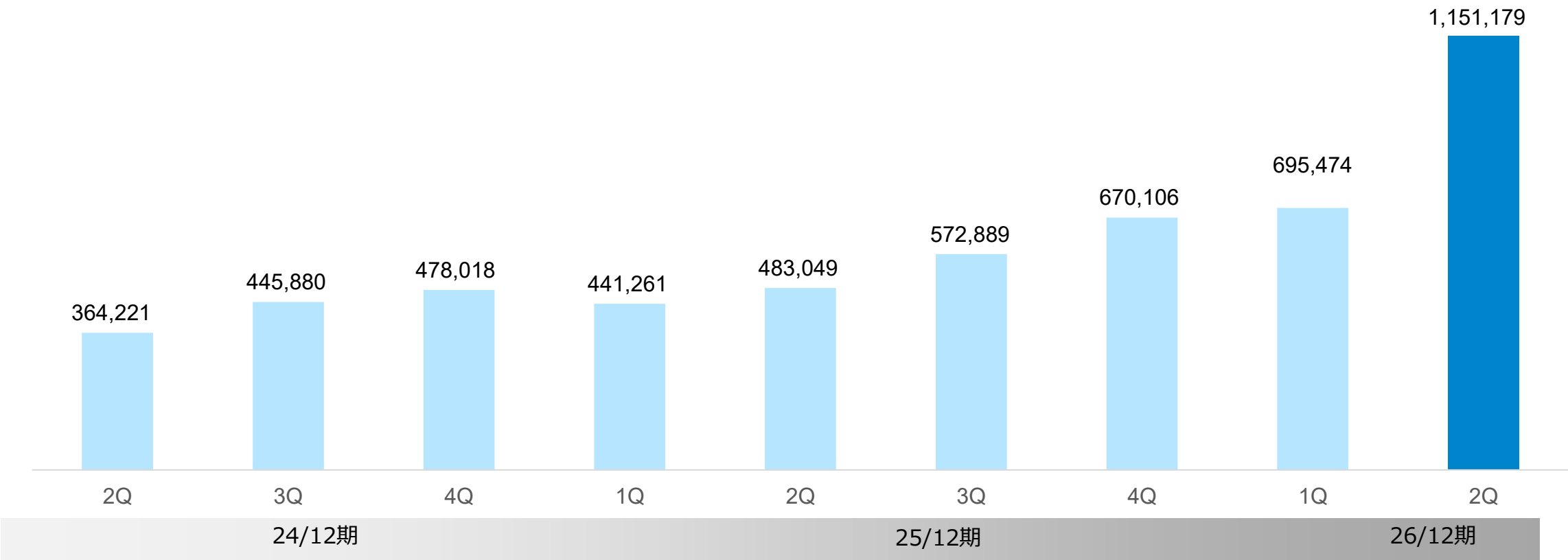
24/12期原価：1,665,908

25/12期原価：2,167,305

(千円)

前年同期比：238.3%

前期比（QoQ）：165.5%





粗利の推移

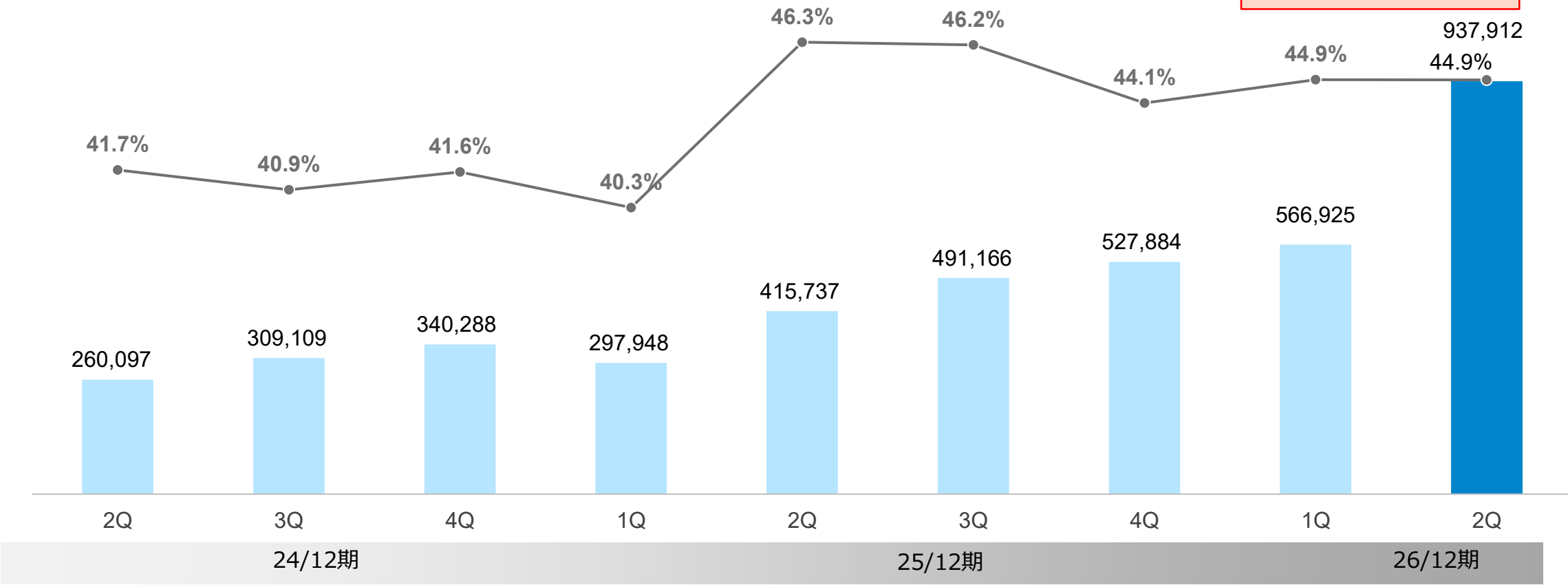
24/12期粗利：1,240,073

25/12期粗利：1,732,735

(千円)

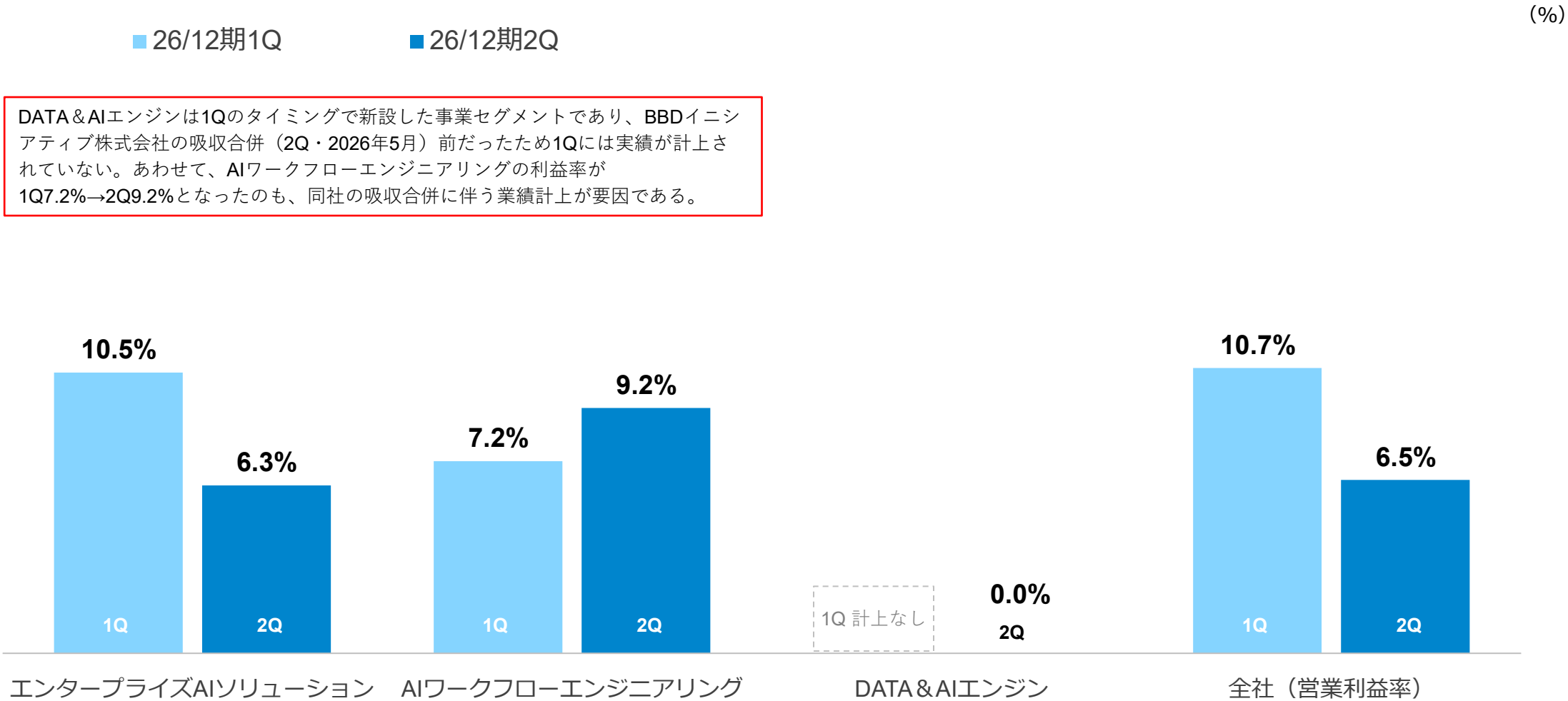
前年同期比：225.6%

前期比（QoQ）：165.4%





セグメント利益率の推移



（注）2Q実績は第2四半期累計期間実績から第1四半期累計期間実績を差し引いて算出。利益率＝セグメント利益÷売上高（計）。全社は営業利益率。



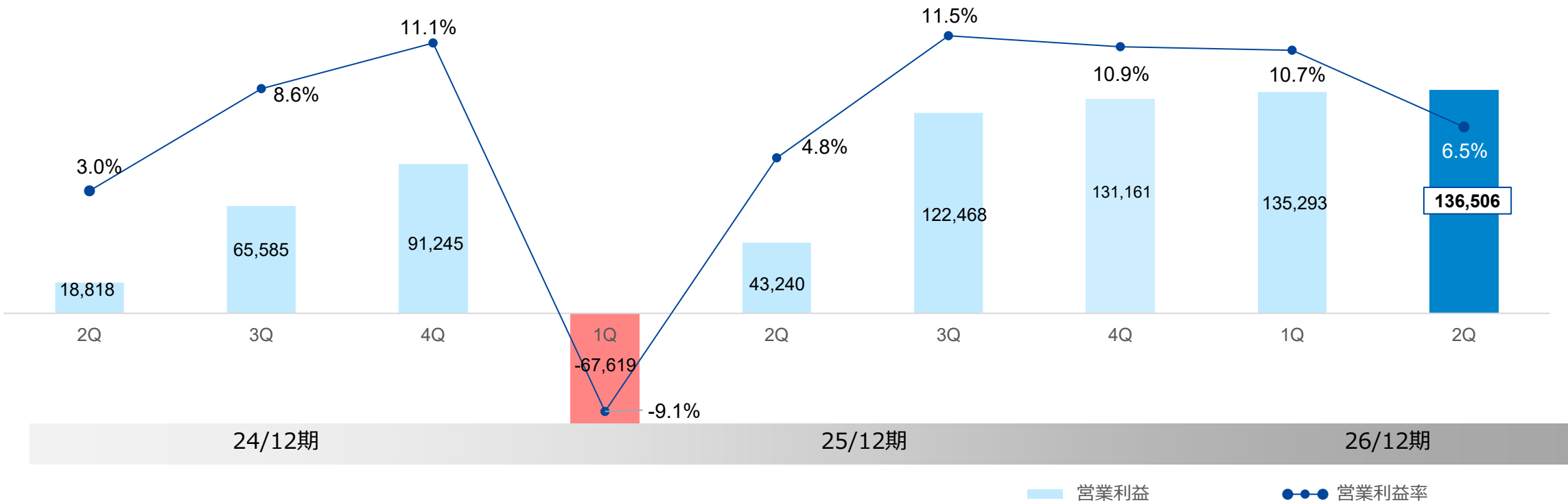
営業利益・営業利益率の推移

(千円)

24/12期営業利益：307,954

25/12期営業利益：229,250

26/12期2Q：売上高・粗利は四半期ベースで過去最高を更新。営業利益は136,506千円、営業利益率は6.5%となり、吸収合併に伴う費用増加の影響を受けたものの黒字を確保している。今後さらなる戦略的な成長投資を行いながら、AI駆動開発、ストックビジネスの拡大などによって、収益性のさらなる向上を目指す。





販管費の推移

(千円)

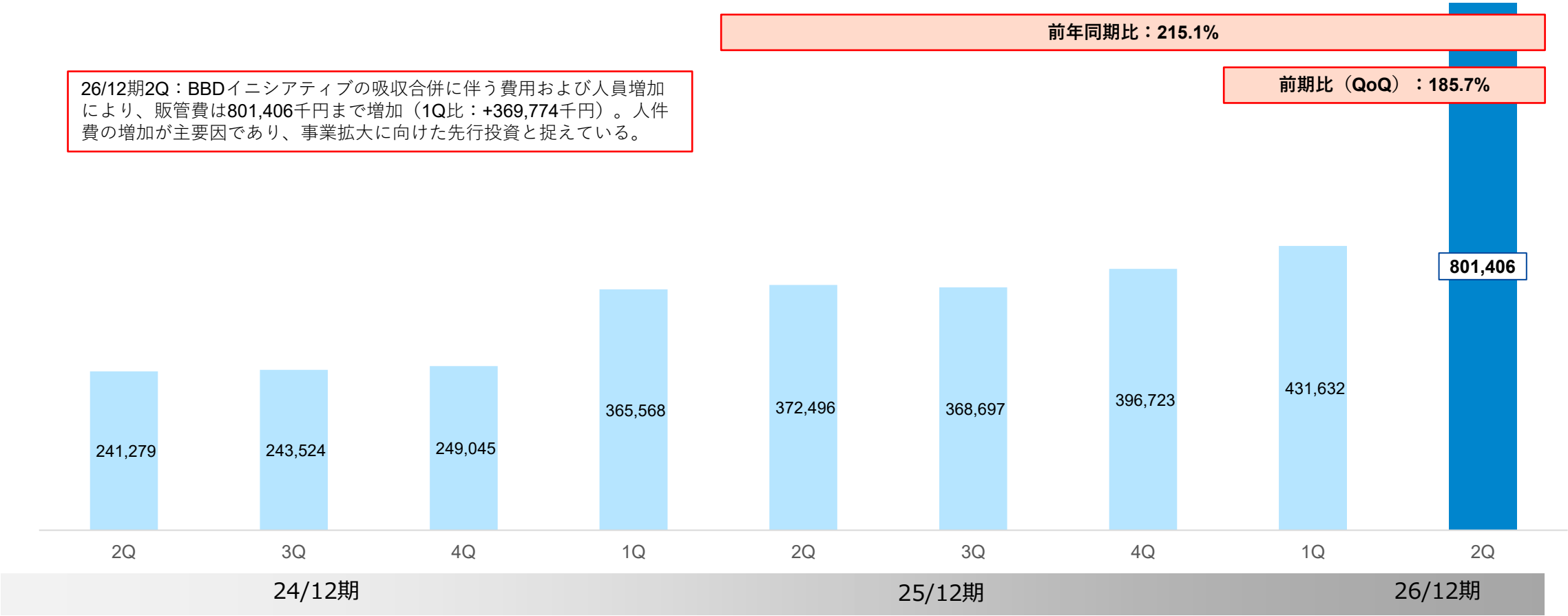
24/12期販管費：932,119

25/12期販管費：1,503,484

26/12期2Q：BBDイニシアティブの吸収合併に伴う費用および人員増加により、販管費は801,406千円まで増加（1Q比：+369,774千円）。人件費の増加が主要因であり、事業拡大に向けた先行投資と捉えている。

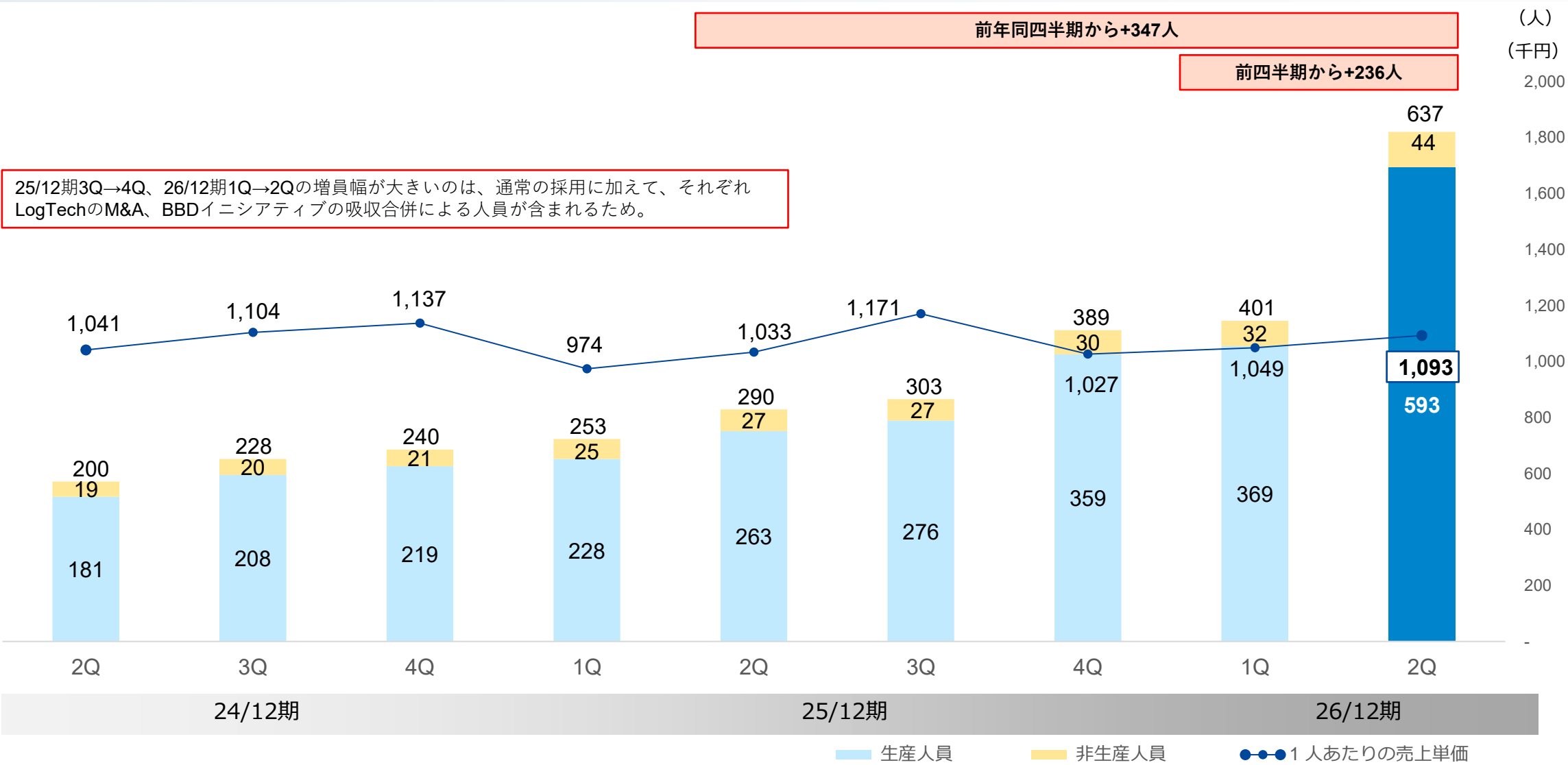
前年同期比：215.1%

前期比（QoQ）：185.7%





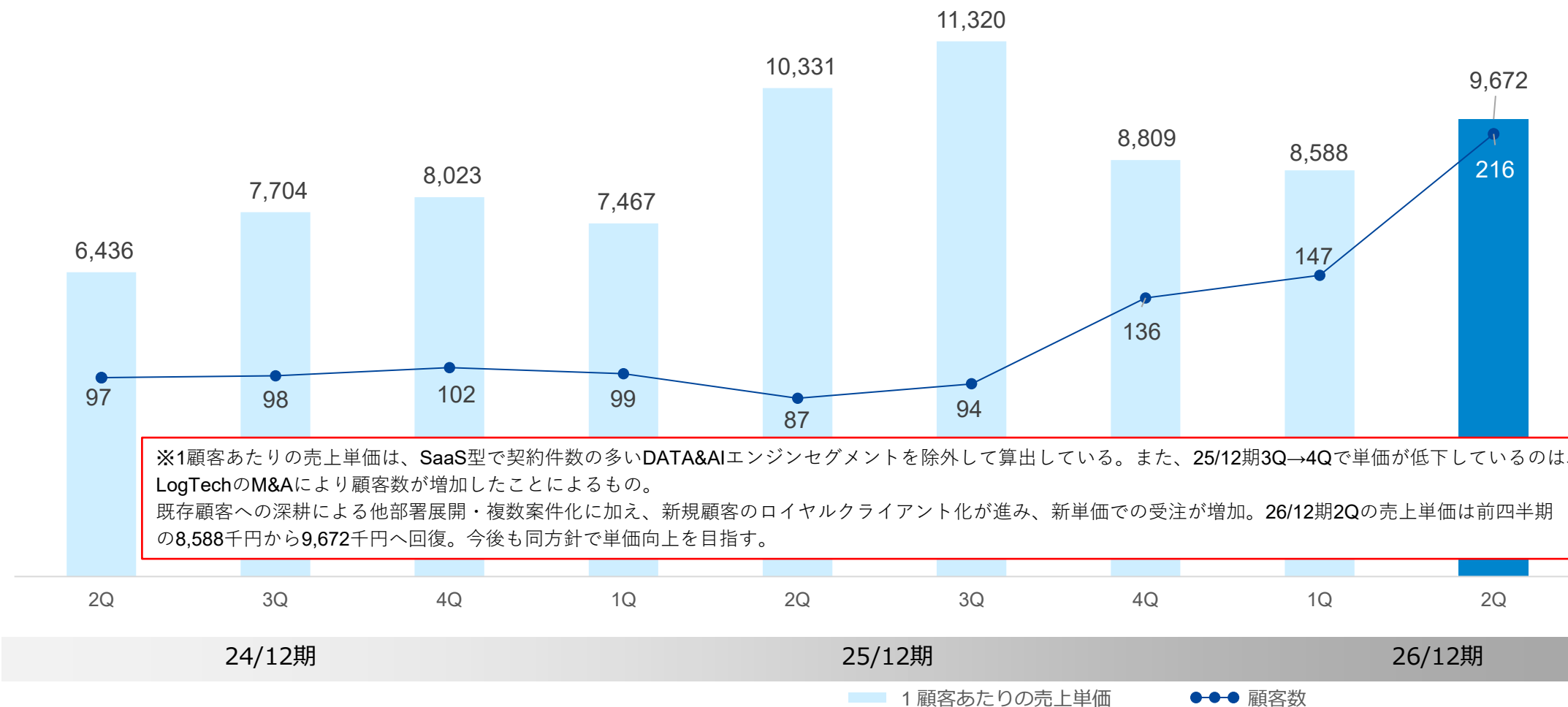
従業員数、従業員1人あたりの月売上単価推移





顧客数と1顧客あたりの売上単価推移

(社)
(千円)





セグメント別 顧客基盤指標（顧客数・売上単価・ARR）

① フロー型（四半期単体実績）

セグメント	顧客数（2Q）	1顧客あたり売上単価（2Q・千円）	売上高（2Q・千円）
エンタープライズAIソリューション	107社	11,415	1,221,356
AIワークフローエンジニアリング	123社	4,276	525,937

② スtock型（SaaS・ARRベース）

セグメント	契約件数	ARR（千円）	売上高（2Q・千円）
DATA&AIエンジン	3116件	1,586,751	341,798

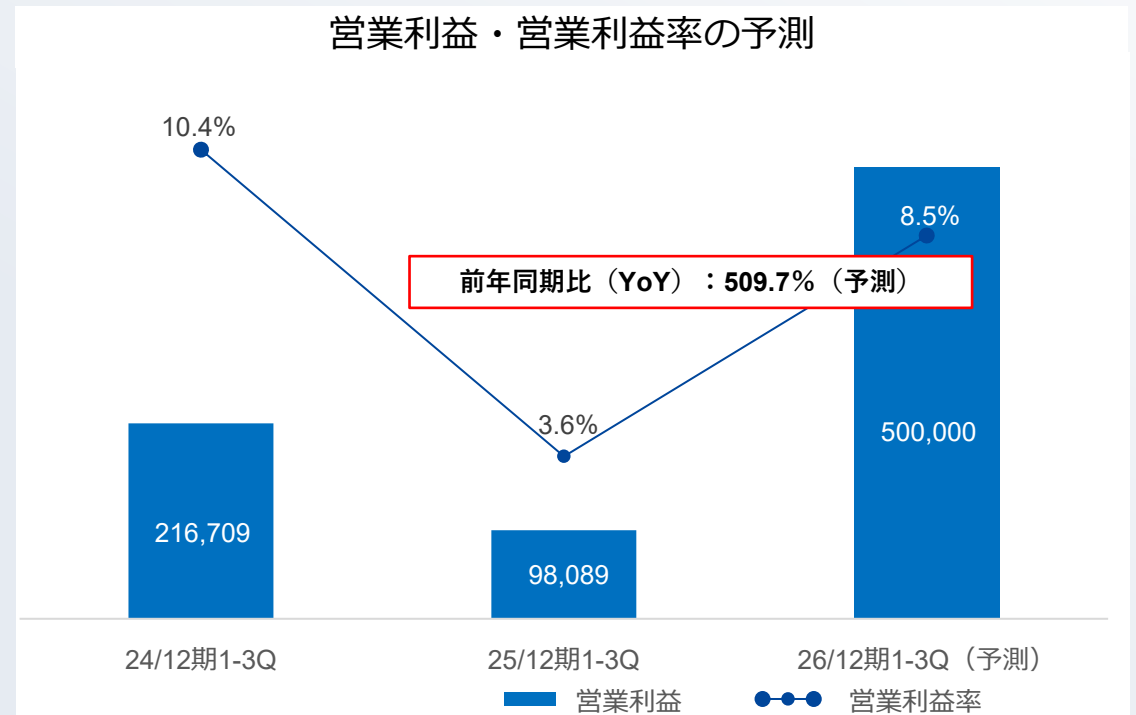
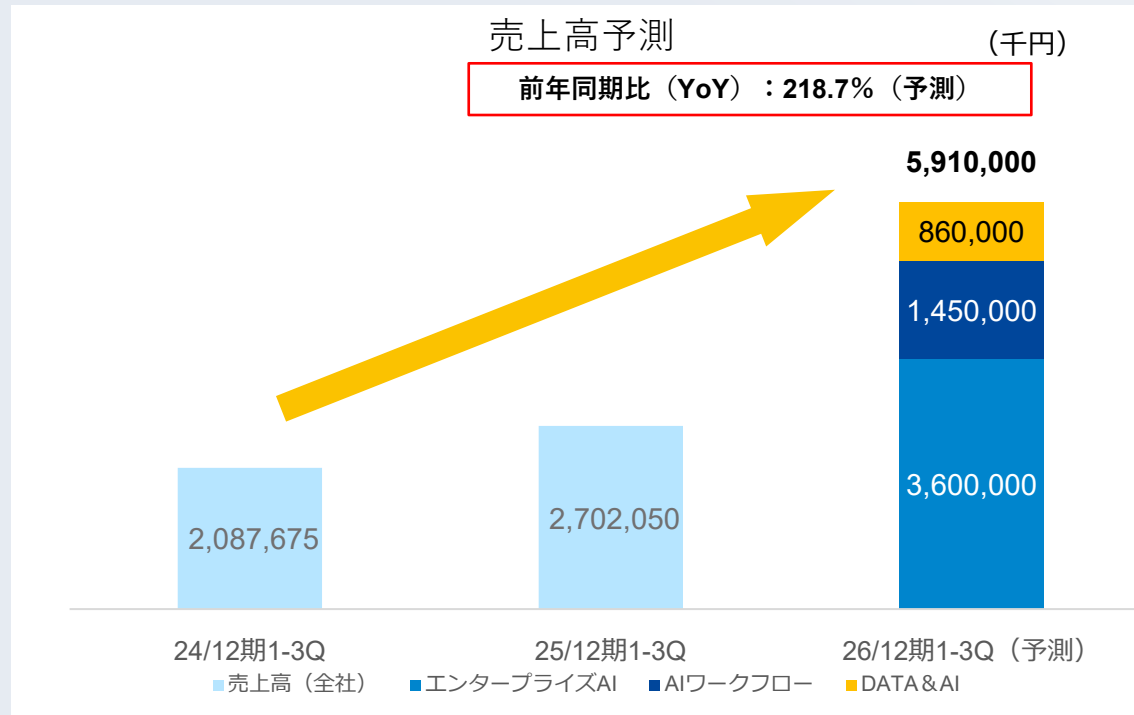
当第2四半期より、新セグメント体制における事業規模及び顧客基盤の状況を示す参考指標として、顧客数・顧客当たり売上単価・ARRを掲載している。

※開示項目は事業特性及び管理指標の見直し等に応じて適宜変更する場合があります。

▶ 2026年度12月期第3四半期の収益予測

2026年度は、AIエージェントによるAI市場のさらなる拡大期と捉えております。この市場環境に合わせて、AIエージェント関連案件の拡大に加え、PMIによるグループ全体の基盤整備を推進しており、3Qは次の収益を見込んでおります。

- ・ 売上高：AIエージェント関連案件の拡大及びグループ連携強化により、2Q累計売上高から76%増の59.1億円を予測
- ・ 粗利率：2Qに引き続き、45%前後の粗利率達成を見込む
- ・ 販管費：PMI及び将来成長に向けた投資を継続しながらも、計画の範囲内で推移する見込み
- ・ 営業利益：売上高の成長と安定した粗利率の維持により、3Q営業利益率は8%超を予測
(3Qまでの累計予測数値は、以下のグラフをご参照ください)



※ 予測値は本資料開示時点のもので、数値は上下する可能性があります。

《IR News : <https://www.headwaters.co.jp/ir/news/>》

■ 適時開示

- ✓ Results of Operations for FY2025
- ✓ 当社取締役等に対する譲渡制限付株式としての新株式発行に関するお知らせ
- ✓ 臨時報告書
- ✓ 主要株主の異動に関するお知らせ
- ✓ 法定事後開示書類（吸収合併）（BBDイニシアティブ株式会社）
- ✓ 当社取締役等に対する譲渡制限付株式としての新株式発行の払込完了に関するお知らせ
- ✓ 2026年12月期 第1四半期決算短信補足資料
- ✓ 報告セグメントの変更に関するお知らせ
- ✓ 通期業績予想の修正に関するお知らせ
- ✓ 合併により上場廃止となったBBDイニシアティブ株式会社に係る決算開示のお知らせ
- ✓ 吸収合併による1株に満たない端数の処理に伴う自己株式の買取りに関するお知らせ
- ✓ 営業外費用の計上に関するお知らせ
- ✓ 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）
- ✓ 臨時報告書
- ✓ Financial Supplementary Materials for the First Quarter of FY2026
- ✓ Consolidated Financial Results for the First Quarter of the Fiscal Year Ending December 31, 2026

《IR News : <https://www.headwaters.co.jp/ir/news/>》

■ 実績・サービス

- ✓ トライフ向けにパッケージ設計支援AIエージェントを開発
- ✓ 法改正のたびに発生するシステム改修コストを構造的に圧縮。規制産業向け「**AI-Rule as Code**」ソリューションの提供を開始
- ✓ ヘッドウォータース、JR東日本のECサイト「**JRE MALL**」でAIエージェント業務適用の有効性を検証
- ✓ 第一生命の生成AI活用した新**AI-OCR**システム設計・開発を担当し、読み取り精度**20%**向上と運用コスト約**50%**削減を実現
- ✓ ブーストマーケティング、**Dify**活用AIエージェントサービス「できないゼロAI」を提供開始
- ✓ ヘッドウォータース、AI駆動開発を個人依存から組織標準へAIエンジニアリングOS「**SAIDDar**」を展開
- ✓ ネットビジネスサポート、米国ユニコーンAI企業**Clay Inc.**と国内初のパートナーシップ協業を開始
- ✓ ヘッドウォータースグループのDATA IMPACT JOINT STOCK COMPANYが「Microsoft Agent Hackathon」企業部門最優秀賞を受賞



- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 本書では、数字の比較を次の3つに分けて記載しております。
 - ・『前期比（QoQ）』：前四半期数字と当該四半期数字の比較
 - ➡ 26/12期1Qと26/12期2Qの数字を比較
 - ・『前年同期比（YoY）』：（前年度）当該四半期累計数字と（本年度）当該四半期累計数字の比較
 - ➡ 25/12期1Q-2Q累計と26/12期1Q-2Q累計の数字を比較。
 - ・『前年同四半期比』：（前年度）当該四半期数字と（本年度）当該四半期数字の比較
 - ➡ 25/12期2Qと26/12期2Qの数字を比較
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。